

# 人身事故が多い交差点

市内で過去5年間に人身事故が多発している交差点を掲載しています。歩行者や自転車の有無をしっかりと確認し、安全運転を心がけましょう。

## 田中西町交差点(臨港線・県道42号)

右左折時の自転車との接触事故や右折車と直進車の事故が多発しています。右左折時に歩行者や自転車、対向車の確認を十分にしていけないことが主な要因です。



## セブンイレブン八代井上町店前交差点

出会い頭の事故が多発しています。一時停止、安全確認、徐行の不徹底が主な要因です。



## 敷川内町(南九州自動車道高架下、金剛小前通り)

高架橋などが死角となり、出会い頭の事故が多発しています。一時停止、安全確認、徐行の不徹底が主な要因です。



## 大村橋郵便局前交差点(県道14号)

右左折時の車両同士の事故、追突事故が多発しています。複雑な交差点の線形、前車の動向確認不足、歩行者や自転車の確認不足が主な要因です。



いよいよ新年度が始まります。新生活や新学期、通りに慣れてない場所での運転に不安を感じる人も少なくないのではないのでしょうか。本市の交通事情を知り、安全運転を心がけ、交通事故を未然に防ぎましょう。

## 東片町交差点(臨港線・国道3号)

臨港線の入り口である東片町交差点では、過去5年間に市内で最も人身事故が発生しています。交通量が多く、車両速度が速いことが主な要因です。



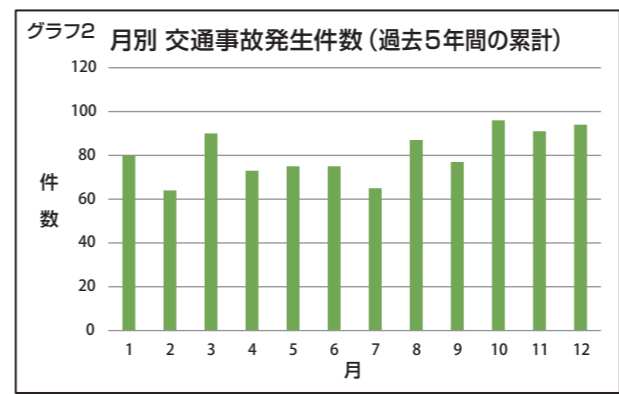
# 本市の交通事故の特徴

本市では、出会い頭の交通事故が多発しています。これは一時不停止、左右の安全確認不足、徐行しないことなどが原因で発生する事故です。「停止線で止まっても見えないから」といって、見える場所で止まる人がいますが、とても危険です。「停止線でいったん止まり、見える位置までゆっくり出て止まること」を意識して運転しましょう。

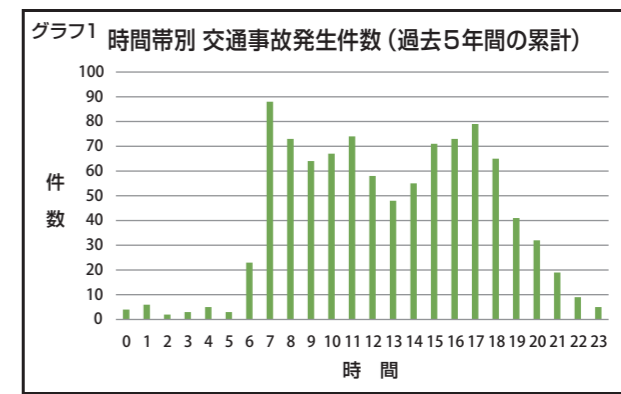
また、飲酒運転と無免許運転の検挙数も多く、令和2年には熊本県でワーストの検挙数になりました。令和4年は飲酒運転で71件、無免許運転で31件が検挙されており、依然として多い傾向にあります。

交通事故が多い季節  
グラフ2の「月別 交通事故発生件数」によると、年度末で忙しい3月、8月の行楽シーズン、日が落ちるのが早くなる10〜12月に交通事故が増える傾向にあります。忙しい時ほど落ち着いて運転し、ルートや交通渋滞情報をあらかじめ確認するようにしましょう。歩行者と自転車は、反射材を活用し、ライトを持ち歩きましょう。

高齢者とそのご家族へ  
令和4年中的市内の交通死亡事故が多かったのは、高齢の運転者が事故の原因を作り、本人が亡くなる事故でした。運動機能、認知能力、体の健康状態は加齢とともに低下します。「運転に自信がある、私は事故を起こさない」と思い込まず、自分の現状を正しく認識し、免許返納やサポカーへの切り替えなど、現状に応じた対策をしましょう。家族の人も高齢者が運転する車と一緒に乗ってみて、危険がないか確認をお願いします。



データ提供: 八代警察署



データ提供: 八代警察署

## あなたは守れてる？ 見逃しがちな交通ルールを 再確認しよう

### ●横断歩行者妨害等違反

下記はすべて違反であり、歩行者との事故につながるため大変危険です。

- ①横断歩道がある場所で徐行しない(横断しようとする歩行者がいけないことが明らかな場合は除く)
- ②横断歩道を横断しようとする歩行者などがある場合に一時停止しない
- ③横断歩道付近で停止している車両より前方に出る場合に一時停止しない

### ●ハイビームの使用

夜間、車両を運転する際、ライトはハイビームで走行することが基本です。ただし、他の車両など行き違う場合や市街地では、ロービームで走行しなければなりません。

### ●全席シートベルト着用

「シートベルト着用は運転席と助手席だけでいい」「高速道路だけシートベルトを着ければいい」と思い込んでいませんか。シートベルトは、車に乗る際の安全確保のための手段として着用が義務付けられています。

## 思いやりのある運転を 新入園児・新入学児の 交通事故を防ごう

入園・入学の時期は交通事故が増加します。登下校の時間は特に歩行者に注意しましょう。

- 1.子どもが登下校する時間帯は、速度を落とし歩行者に注意する。
- 2.子どもを車に乗せるときは、チャイルドシートやジュニアシートを必ず利用する。
- 3.子どもが自転車を運転するときや、自転車に乗せるときは、必ずヘルメットを着用させる。



## ご存じですか？ 4月からヘルメットの着用が 努力義務化されます



令和5年4月から、自転車の利用者は年齢に関わらず、ヘルメットの着用が努力義務化されました。ヘルメットを着けていない際の死亡原因の約6割が頭部損傷です。大切な命を守るために、ヘルメットを積極的に着用しましょう。

## 新入生の皆さんへ 交通ルールをきちんと守ろう



- 横断歩道を渡ろう、手を挙げてアピールしよう  
横断歩道以外の場所や斜め横断はとても危険です。横断歩道を渡るようにしましょう。渡る時は手を挙げて、ドライバーに渡る意思を伝えましょう。

- 道路・駐車場は危ない場所  
道路や駐車場は危険がいっぱいです。自分たちには見えていても車からは見えないところがたくさんあります。道路や駐車場の近くで遊ばないようにしましょう。

## 全日本交通安全協会交通栄誉賞 「緑十字銀章」を受賞

緑十字銀章は、無事故20年以上・無違反10年以上で交通安全功労者としての功績が特に顕著な人に贈られる賞です。

谷口さんは八代地区交通安全協会の役員を旧氷川地区交通安全協会時から45年務めるなど、地域の交通安全活動に貢献したことを認められ、令和5年1月に緑十字銀章を受賞しました。



▲中村博生市長に受賞を報告する谷口さん(左)



▲横断歩道で街頭指導を行う谷口さん

谷口さんは「今後も健康な限り、宝である子どもたちを守るために活動を続けていきたいです。ドライバーの皆さんは、横断歩道の近くで子どもを見かけたら、一時停止するようにお願いします。」と話しました。

谷口さんは、文政小学校前での街頭指導を行っています。45年前に転勤で北九州から地元八代に帰って来た時、当時交通安全協会の役員をしていた人が病气のため、変わってほしいと頼まれた

現在は、朝の街頭指導のほかに、下校時の見守り活動、保育園や学校、高齢者向けの交通安全教室などをしています。

地域交通安全活動推進委員  
鏡まちづくり協議会 地域安全部会委員  
谷口 一雄さん

## 地域の交通安全を支える活動を紹介



▲ガメさん公園で防犯パトロール活動を行う井口さん

二中校区少年警察ボランティアパトロール隊は八代警察署長の委嘱団体で、井口さんは青色防犯パトロールで地域を見守っています。育ってきた八代のために何か恩返しをしたいという思いから2011年8月にパトロール隊を立ち上げ、活動を開始しました。気を付けていることは、指導する立場にあるため、皆さんに見られていることを強く自覚し、自分自身に厳しくすることと話します。やりがいは、パトロールの際に子どもたちから「ご苦労さまです」と元気に敬礼されること、そして、「ありがとう、がんばってね」と声掛けしてもらえること。今後も、青パトの回転灯が悪いことをしようとしている人のブレーキになり、罪を犯して後悔する人がいなくなるように活動を続けるそうです。

### ボランティアパトロール

二中校区少年警察ボランティアパトロール隊 隊長 井口 洋二さん

### 二中校区少年警察ボランティアパトロール隊

主な活動は、毎週行っている青色防犯パトロールや花火大会などでの街頭指導、声掛けなどの事案が発生した際には緊急のパトロールを行っています。パトロールでは通学路に消えかけた路側帯や道路標示はないか、公園や遊び場に異常はないか、などを確認しています。



▲二中校区少年警察ボランティアパトロール隊 左から前田浩一さん、井口さん、木藤裕守さん、川瀬次義さん